

文芸欄



俳句

宝愛句らぶ（中央区）

春疾風ひときわ荒ぶ瓦礫あと
桜餅まず葉の香り嗅ぎてから
窓の下赤白ピンクつつじかな
早足の夜桜見学手を引かれ
夜桜の名残を夫に寄り添ひて
やがて消ゆ儚き夢よ花筏
静まりてお七の気配夜桜や

梅の美会（兵庫区）

よりそうて同じ世代の花筵
足萎えて紙面で楽しむ山つつじ
新築の軒に新居やつばくらめ

高原ささゆり会（北区）

若葉風セーラー服とすれ違ふ
谷川の冷たき水に夏プール
七年の時を育み蟬の鳴く
展望に心が弾む夏木立
アイス持つその手もアイスになる子かな
くちなわもいわくありげに天満宮
さまざまに花咲ききそう卯月なり
うぐいすの目覚める朝が早くなり

和子
悦子
千枝子
静子
道子
和志

藤井 歌子
山田 朝子
栗野 富江

笠井 照子
佐藤伸二郎
若林 節子
松村二三枝
南 久美子
中井 裕子
尾崎 順子
かなめ

ひまわり句会（北区）

新緑や米寿迎えて感無量
うぐいすの声にぎやかや里帰り

石井 敏子
辻 寿賀子

ひよどり台句会（北区）

「御衣黄」てふ今年の花を見上げたり
春の味今年届いた筈なり
春空へ天つき体操力込め
夫と歩す至福の時や花の道

金田美恵子
塩見 光子
中井 光子
矢谷登美子

北斗句会（北区）

車座の花見なれど上下座
花の雨平家ゆかりの寺訪ひぬ
天空の天守の跡や飛花落花
揚げ雲雀こよと招く札所寺
崔花雨を大樹諸手を挙げて受く
カルテ読む医師の沈黙春一番
風光る芽萐替へし能舞台
遠汽笛子ら貝ひらふ磯遊び
春の日や口遊ぶ母三拍子
ひとり来て人恋ふ山の桜かな

岸下 正二
久松 礼子
増田 嗣夫
秋山 弘之
松本 洋子
金行 隆
脇坂有多子
坂本 宏伸
小川 鈴江
時岡 伸之

見山台新樹会（北区）

スケボーを操る子等の春休み
「おさんぽポ」子は還暦に風光る
ダンゴムシ吾より先きにイチゴ喰む
作業終え妻と褒美のむかご飯
コジケイの鳴き声響く過疎の村

高石 勝行
貞永 弘子
佐溝満喜子
石本 宏一
松隈 弘子

五色山健寿会（垂水区）

美作は風の舞ふ町三鬼の忌
手のひらに命ありけり蝌蚪の息
海よりも深き青空白木蓮
楽しいに何を相談猫柳
宛名なき文投函す春の闇
合格の通知はウエブ春しぐれ

智子
眞みこ
波音
くに子
毬花
淡峡

◆個人

春うらに残れし缶の宇治抹茶
オオルリや裏山に鳴く四月かな
列島を馬の背分つ寝雪かな
雪柳庭の点灯遅くして
櫓から子午線の町花ざかり
退院や背伸び万歳花仰ぐ

福井 悦子
安田奈美江
宮内 政博
山田キミ子
福本 和恵
田畑美恵子

川柳

深江親交クラブ（東灘区）

店番の慣れぬ日本語笑い合い
ほしかった自由と時間をもてあます
球児たちくやし涙で強くなる
頑張つて！新入社員の子孫出社
持たされたスマホ相手に苦戦する
孫達の帰えったあとの淋しさよ
入院費元を取るまで生きてやる
あれこれと思ひ出したり忘れたり
帰宅する静まり切った部屋哀し
老の身が人に役だち元氣出る
きれいだね四季を先取る散歩道

小田 節子
清水 育子
辻本美佳子
津田 正江
東方 輝子
林 芳一
増田 芳之
三島 茂子
村瀬 武子
森 和子
森元 弘美

生田新生クラブ緑風会（中央区）

三月は未知の世界へ旅立ちだ
美味しさより価格優先年金者
料理下手うまいの声にホッとする
秋が来て果実の美味しさうれしくて
人生は手の温もりを忘れない
桃太郎戦争のない世の中に
春になり踏まれて育つ大成す
笑顔しか見せなかった父旅立ちて
飛行機が安全着陸ホッとする

ねね
おふじ
三浦
さくら
はな
菜々
ヨシ

桂木ひふみ会（北区）

「あんたがたどこさ」遠い記憶がよみがえる
変化球弾まぬままのティータイム
毬蹴つて貴人幸せ平安期
コッポリで毛マリける人よくやるな
ひな祭り隣に飾る糸の毬

杉尾 悦子
京念久美子
荒木 宗Q
大和ケント
笹岡 淑子

筑栄会（北区）

泣きじゃくる児の目鼻口に花吹雪
花吹雪役者気分で歩いてる
だんご食べ花観忘れて昼寝する
我が人生尽し尽されもう米寿
旬のもののつくしたらの芽わらびなど
エレベーターまで点滴に見送られ
杉、桧、花粉飛ばさにやい樹だが
顔認証並んだ皺もバーコード

菜々
かをる
ボン
かほう
三茶
まさこ
せい
あきら

◆個人

春風やちらりはらりと花いかだ
グルメ不可北里恋しいうどん代
進学の新棒チャリや青キップ
送迎のバスへ消えゆく二度童
花電車往時を偲ぶ港祭り
切られ役衣装を替えて二度三度

早川キミエ
北野 利一
宮内 政博
久山 節子
小高 肇
藤原 健二

短歌

高原ささゆり会（北区）

目が覚めて現に向かう坂道を
ポロポロと夢落としつつ歩く
人が皆見ている月は表のみ
この星さえも既に無きかも

中井 裕子
南 久美子

◆個人

人の世も心も移ろいやすき今日
若葉愛しむ夕雨やさし

（灘）上田 節子

特殊詐欺被害多発中！

携帯への詐欺電話は
アプリでブロック！

警察庁推奨 特殊詐欺対策アプリ

詳しくはこちらの二次元コードから▶



あとがき

梅雨明けの知らせが待ち遠しい7月。雨の日が続くと気分も沈みがちですが、その先には本格的な夏がやってきます。夏は暑さによる疲れや食欲不振で体調を崩しやすい季節です。特に熱中症は屋外だけでなく室内でも起こるため油断は禁物。こまめな水分補給や十分な睡眠を心がけ、無理のない範囲で体を動かしながら、元気に夏を迎える準備をしておきましょう。